

日本救急医療財団の活動報告

平 賢 二 事務局長

2019年6月中旬から8月上旬までの財団の活動について報告します。

総務部門に関する報告

仁平 正行 総務部

1. 「救急の日2019」運営委員会開催について

令和元年7月5日（金）14時00分より厚生労働省において「救急の日2019」運営委員会が開催されました。開催日は令和元年9月8日（日）、場所は昨年と同じ「アクアシティお台場」3階の「アクアアリーナ」で開催されることになりました。

ステージイベントとして、例年お願いしている日本赤十字社による救急蘇生法実演・実習指導（救急法指導員などによる心肺蘇生法等の実演及び希望者に対するAEDを含む実習指導）、日本AED財団「減らせ突然死実行委員会」による「子供たちへのカンタン救命講座」に加え、昨年に引き続き今年度も全国救急救命士教育施設協議会（代表理事：田中秀治先生）に学生参加の依頼したところ、全国救急救命士教育施設協議会の理事会で参加の承認をいただきました。全国救急救命士教育施設協議会より推薦されました帝京平成大学及び東京医薬専門学校の学生に参加をいただき、救急救命処置シミュレーション「未来の救急救命士が繋ぐ、救命の輪」のステージを両校に行っていただくこととなりました。

研修研究部門に関する報告

風間 和則 研修研究部

1. 令和元年度救急医療業務実地修練等研修事業について

令和元年度救急医療業務実地修練等研修事業については、厚生労働省と6月25日に委託契約を締結し、7月22日に開催した研修教育事業委員会の決議を経て、次のように決定しました。

① 救急救命士養成所専任教員講習会

令和元年8月5日（月）～8月9日（金） 国立病院機構研修センター

② 看護師救急医療業務実地修練

（合同研修）

令和元年8月26日（月）～8月30日（金） リロの会議室田町会場

（施設研修）

令和元年9月30日（月）～10月4日（金）

③ 医師救急医療業務実地修練

（施設研修）

令和元年9月12日（木）～9月13日（金）

(合同研修)

令和元年 9 月 18 日(水)～9 月 20 日(金) リロの会議室田町会場

④ 救急救命士業務実地修練

令和元年 11 月 25 日(月)～11 月 29 日(金) リロの会議室田町会場

⑤ 保健師等救急医療指導者講習会

令和元年 11 月 7 日(木)～11 月 8 日(金) リロの会議室田町会議室

⑥ 病院前医療体制における指導者等研修(初級者)大阪会場

令和元年 10 月 10 日(木)～10 月 11 日(金) 天満研修センター

⑦ 病院前医療体制における指導者等研修(初級者)東京会場

令和元年 11 月 7 日(木)～11 月 8 日(金) リロの会議室田町会議室

⑧ 病院前医療体制における指導者等研修(上級者)

令和元年 11 月 27 日(水)～11 月 29 日(金) リロの会議室田町会場

2. 非医療従事者による AED 使用のあり方特別委員会について

令和元年 7 月 30 日(火)に、東京ガーデンパレスにおいて、「非医療従事者による AED 使用のあり方特別委員会」を開催し、AED の管理・設置に関する課題及び AED 使用の普及啓発の方策等について活動状況が報告され検討しました。

また、2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けた財団全国 AED マップの取り組みについて内容が報告されました。

3. 救急救命士養成所専任教員講習会について

令和元年 8 月 5 日(月)から 8 月 9 日(金)までの 5 日間、独立行政法人国立病院機構研修センターにおいて、救急救命士養成所専任教員講習会を実施しました。

研修内容は、①救急救命士の活動に必要な関係法規と救急救命士の処置内容の拡大の今後、②病院前医療MC体制の現状と将来像、③救急救命士に必要な特定行為プロトコールを実技で指導するための基礎知識、④救急救命士養成施設教育体制の現状と今後の課題、⑤救急救命士指導者にもとめられる素養と知識、⑥病院前医療体制充実のための課題の検討、⑦救急救命士教育現場に必要なプレゼンテーション技法、⑧救急救命士に必要な研究方法の理解と種々の統計解析法の理解、⑨蘇生ガイドラインと救急活動プロトコール、⑩救急救命士に必要な教育技法、⑪高度シミュレーターを使用した特定行為プロトコールを検討する、について講義及びワークショップを行い、全国から 29 名の受講者が参加されました。

特に、ワークショップでは、活発な意見交換と受講者相互の情報交換がなされ、大変有意義な講習会となりました。